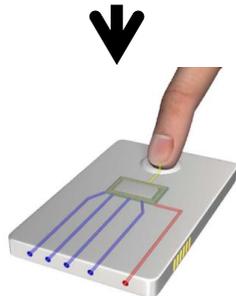


# イメージセンサ法と従来法(ELISA法)の比較

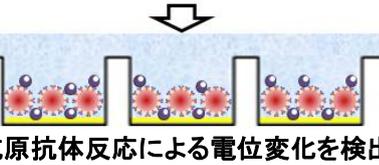
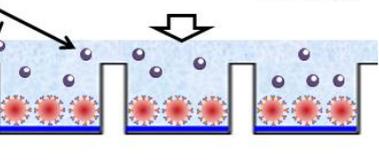
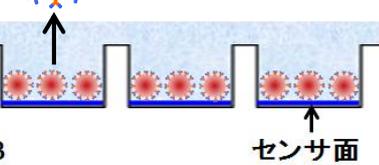
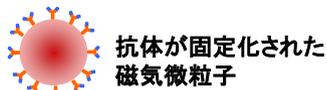
自宅において採血用穿刺器具を用い  
微量の血液を採取する



血液をセンサの血漿分離膜上にのせる



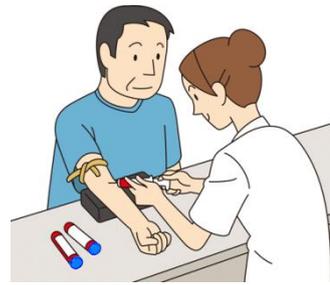
センサを読み出し装置に差込み  
抗原抗体反応のため10分間放置



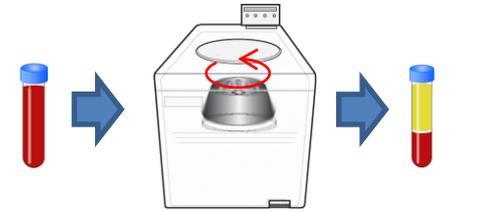
抗原抗体反応による電位変化を検出



抗原抗体反応による電位の変化を直接検出、  
結果はスマホ等に表示される。

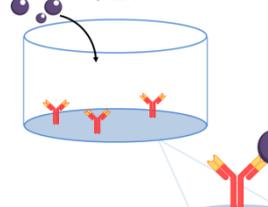


病院で注射器を用い  
数mLの採血を行う

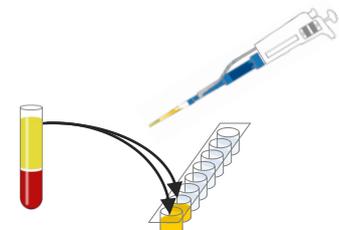


血液を遠心分離し血漿を分離する(約10分)

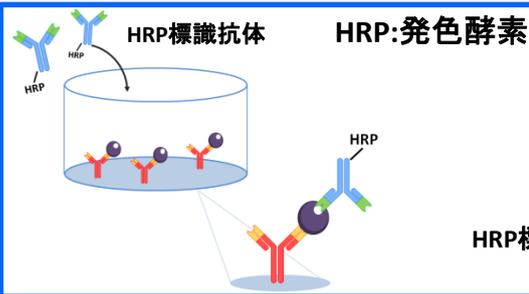
Aβを含むサンプル



抗体が固相化されたマイクロプレートに血漿を添加し6時間~1晩、4℃で放置

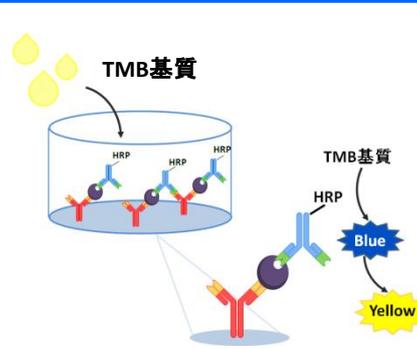


洗浄液にて5回洗浄(約10分)



HRP標識抗体を添加し2時間、4℃で放置

洗浄液にて5回洗浄(約10分)



HRPと反応して発色するTMB基質を添加し  
30分間、室温放置

硫酸を添加し発色反応停止



マイクロプレートリーダーで吸光度を測定し検量線から濃度を算出する

30分  
以内

9~15  
時間